

青森県報

第九百十五号

令和七年
五月十九日
(月曜日)

目次

公 告

○県営土地改良事業計画の決定……………(農村整備課) ……一

○右 同……………(同) ……一

○右 同……………(同) ……二

○右 同……………(同) ……二

○都市計画の変更案の縦覧……………(都市計画課) ……二

出先機関

○土地改良区の清算人の就任……………(三八農林水産事務所) ……三

公安委員会

○運転免許取得者等教育の認定の取消……………(運転免許課) ……四

○運転免許取得者等検査の認定の取消……………(同) ……四

公 告

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五号)第八十七条第一項の規定により、吉川堰地区の県営土地改良事業(ため池等整備事業(用排水施設整備))計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して

十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として(知事が被告の代表者となる。)、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があつたことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならないこととされている。

令和七年五月十九日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和七年五月二十日から同年六月九日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五号)第八十七条第一項の規定により、悪戸・小沢地区の県営土地改良事業(畑地帯総合整備事業(農業用排水施設整備)(農道整備))計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として(知事が被告の代表者となる。)、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があつたことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならないこととされている。

令和七年五月十九日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和七年五月二十日から同年六月九日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第八十七条第一項の規定により、今別地区の県営土地改良事業（経営体育成基盤整備事業）計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として（知事が被告の代表者となる。）、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならないこととされている。

令和七年五月十九日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和七年五月二十日から同年六月九日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第八十七条第一項の規定により、水本地区の県営土地改良事業（ため池等整備事業（用排水施設整備））計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として（知事が被告の代表者となる。）、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならないこととされている。

令和七年五月十九日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和七年五月二十日から同年六月九日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

都市計画の変更案の縦覧

都市計画法（昭和四十三年法律第九号）第二十一条第一項の規定により、むつ都市計画区域における道路に関する都市計画を変更したので、同条第二項において準用する同法第十七条第一項の規定により公告し、次のとおりむつ都市計画区域における道路に関する都市計画の変更案を縦覧に供する。

なお、関係市町村の住民及び利害関係人は、縦覧期間満了の日までに、当該都市計

県営今別地区土地改良事業計画書

(経 営 体 育 成 基 盤 整 備 事 業)

青 森 県

目

次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び浸食の程度	3
2.	土地利用の状況	4
3.	土地所有の状況	4
第 3 節	水 利 状 況	4
1.	用 水 状 況	4
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	7
4.	想定被害状況	7
第 4 節	道 路 現 況	9
1.	道 路 概 況	9
2.	主要道路一覧表	9
第 5 節	地域農業の概況	10
1.	産業別就業人口	10
2.	経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数	10
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	10
4.	主要作物作付状況	11
5.	農 業 の 動 向	12
第 6 節	地域環境の概況	12
第 4 章	一 般 計 画	13
第 1 節	事業計画の要旨	13
1.	要 旨	13
2.	事 業 別 面 積	13

第 2 節	営農計画及び土地利用計画	13
1.	営農計画の概要	13
2.	土 地 利 用 区 分	13
3.	作 付 方 式	14
4.	生 産 計 画	15
5.	労働改善計画	16
第 3 節	用 水 計 画	17
1.	計 画 基 準 年	17
2.	計画かんがい方式	17
3.	計 画 用 水 系 統	17
4.	計 画 用 水 量	17
5.	水 源 計 画	19
第 4 節	排 水 計 画	20
1.	計 画 基 準 雨 量	20
2.	計 画 排 水 方 式	20
3.	計 画 排 水 系 統	20
4.	計 画 排 水 量	20
5.	排 水 対 策	20
6.	た ん 水 検 討	20
第 5 節	道 路 計 画	22
1.	道 路	22
2.	路 線 配 置 図	22
第 6 節	洪水調節計画	23
1.	計 画 基 準 雨 量	23
2.	計画洪水量及び調節量	23
3.	貯 水 池	23
4.	洪水調節検討	23
5.	管 理 計 画	23
第 7 節	農用地整備計画	24
1.	区 画 整 理	24
2.	暗 渠 排 水	24

3.	客	土	25
4.	農	地	25
第 8 節	老朽ため池改修計画		25
1.	洪水吐改修計画		25
2.	堤体補強計画		25
3.	取水施設改修計画		25
第 5 章	主要工事計画		27
第 1 節	用水施設		27
1.	貯	水	27
2.	頭	首	27
3.	揚	水	27
4.	用	水	27
第 2 節	排水施設		27
1.	排	水	27
2.	排	水	27
3.	排	水	27
4.	その他排水施設		27
第 3 節	道	路	27
1.	道路の総括表		27
2.	道路主要構造物		27
第 4 節	洪水調節施設		27
1.	貯	水	27
2.	頭首工及び導水路		27
第 5 節	農用地整備施設		28
1.	区	画	28
2.	暗	渠	29
3.	客	土	29
4.	除	礫	29
5.	農	地	29
第 6 節	老朽ため池改修施設		29
1.	貯	水	29
2.	堤体補強施設		29

第 6 章	附帯工事計画	29
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	29
第 8 章	環境との調和への配慮	29
第 9 章	換地計画の概要	30
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	30
第 2 節	換地区の設定	30
1.	換地区の名称・所在・面積	30
2.	換地区を設定する理由	30
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	30
1.	従前の土地の地積の基準	30
2.	用途別予定地積	31
3.	農用地集団化の方針	31
4.	非農用地換地の方法	31
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	32
1.	評 価 の 方 法	32
2.	清 算 の 方 法	32
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	32
第 6 節	換地処分の時期に関する特則	32
第 10 章	事業費の総額及び内訳	33
第 11 章	効	33
第 12 章	関連する事業	34
第 13 章	現況・計画図面	34

第 1 章 目 的

本地区は、今別町を流れる二級河川今別川沿いに広がる水田地帯で、水稻を中心とした営農が行われている。

水田の区画は未整備で30a未満と小さい為、大型機械の作業効率が悪く、耕作道路においても幅員2.0m程度と狭い為、通作や農作物の運搬等に苦慮している。

このため、本事業によりほ場の大区画化や道水路の整備をすることで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、担い手への農地集積を加速化し、本地域の農業競争力の強化を図るものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

地 域
東津軽郡今別町

第 2 節 地 積

(令和6年10月現在) (第2表)

現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
今 別 町	76.7	0.1	1.6	-	12.4	90.8	土地登記簿面積 ※その他は道水路、雑種地

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	今別地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成26年～令和5年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		18.4	4.5	10.3	
降水量	平均 (mm)	688	1,014	1,702	
	基準年 (mm)	404	720	1,124	基準年 昭和63年
降水日数	平均 (日)	51	123	174	
	基準年 (日)	46	118	164	基準年 昭和63年
根 雪 期 間		12月19日～3月19日		90 日間	
無 霜 期 間		5月13日～10月17日		158 日間	
最 多 風 向		SSE	最大風速 (風向)	14 m/s (SSE)	最多風向発生時期 5月～11月 最大風速発生年月日 平成29年 4月 18日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
今別地域気象観測所																
観 測 期 間	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	
昭和1年～令和5年																
最 大 日 雨 量 (mm)	141	S54. 8. 27	1/56	137	H17. 9. 18	1/43	135	S50. 7. 27	1/38	129	R4. 8. 3	1/25	122	S48. 8. 29	1/16	
最 大 時 間 雨 量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最 大 4 時 間 雨 量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最 大 連 続 雨 量 (mm)	364	S43. 1. 18 ～S43. 2. 6	1/42	361	R4. 8. 9 ～R4. 8. 12	1/41	296	H14. 8. 7 ～H14. 8. 15	1/17	282	H29. 11. 11 ～H29. 11. 26	1/14	263	S52. 1. 30 ～S52. 2. 11	1/11	
最大連続干天日数(日)	36	S59. 5. 5 ～S59. 6. 9	1/72	36	H18. 7. 13 ～H18. 8. 17	1/72	33	H25. 5. 31 ～H25. 7. 2	1/37	29	S53. 7. 5 ～S53. 8. 2	1/13	29	H12. 5. 29 ～H12. 6. 26	1/13	

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壤及び浸食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑						受益地標高 (m)		備 考
傾斜区分	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° ～ 以上	計	最 高	最 低	
面積 (ha)	-	76.7	-	-	-	76.7	0.1	-	-	-	-	0.1	29.7	4.0	
比率 (%)	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0			

(第4表-1-2)

項 目 土壤統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表							面 積 (ha)	備 考
	土 壤 断 面								
	色	腐 植	礫 層	土 性			泥炭層黒泥層及 びグライ層		
				表 土 一 層	下 層 土 二 層 三 層				
強グライ土壤強粘土還元型	10Y3/1・表土 7.5GY3/1・下層土	あり・表土 含む・下層土	なし	Lic	Lic	SL	黒泥層	0.1	畑 D30
強グライ土壤強粘土還元型	10Y3/1・表土 7.5GY3/1・下層土	あり・表土 含む・下層土	なし	Lic	Lic	SL	黒泥層	32.4	水田 D30
強グライ土壤砂土還元型	10YR2/2・表土 7.5Y4/2・下層土	あり・表土 含む・下層土	なし	L	S	—	泥炭なし 作土直下グライ層	37.7	水田 D36
グライ土壤壤土型	10YR2/3・表土 7.5YR4/2・下層土	あり・表土 含む・下層土	含む・表土 富む・下層土	Sic	SiL	SiL	黒泥層	6.6	水田 E43
計								76.8	

2. 土地利用の状況

(令和6年10月現在) (第4表-2)

土地利用別 市町村名	耕 地							原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	畑										
		普通 畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)					
今 別 町	76.7	0.1	-	-	-	-	0.1	1.6	-	12.4	90.8	土地登記簿面積 その他は道水路及び雑種地

3. 土地所有の状況

(令和6年10月現在) (第4表-3)

区 分	所 有 別	個 人 有	共 有	国 有	県 有	市 町 村 有	計	備 考
面 積 (ha)		78.1	2.4	0.0	0.0	10.2	90.8	
受 益 者 数 (人)		109	3 (2)	-	-	-	110	() の数は、個人有と重複する 受益者数である。
筆 数 (筆)		291	4	1	2	147	445	

第3節 水利状況

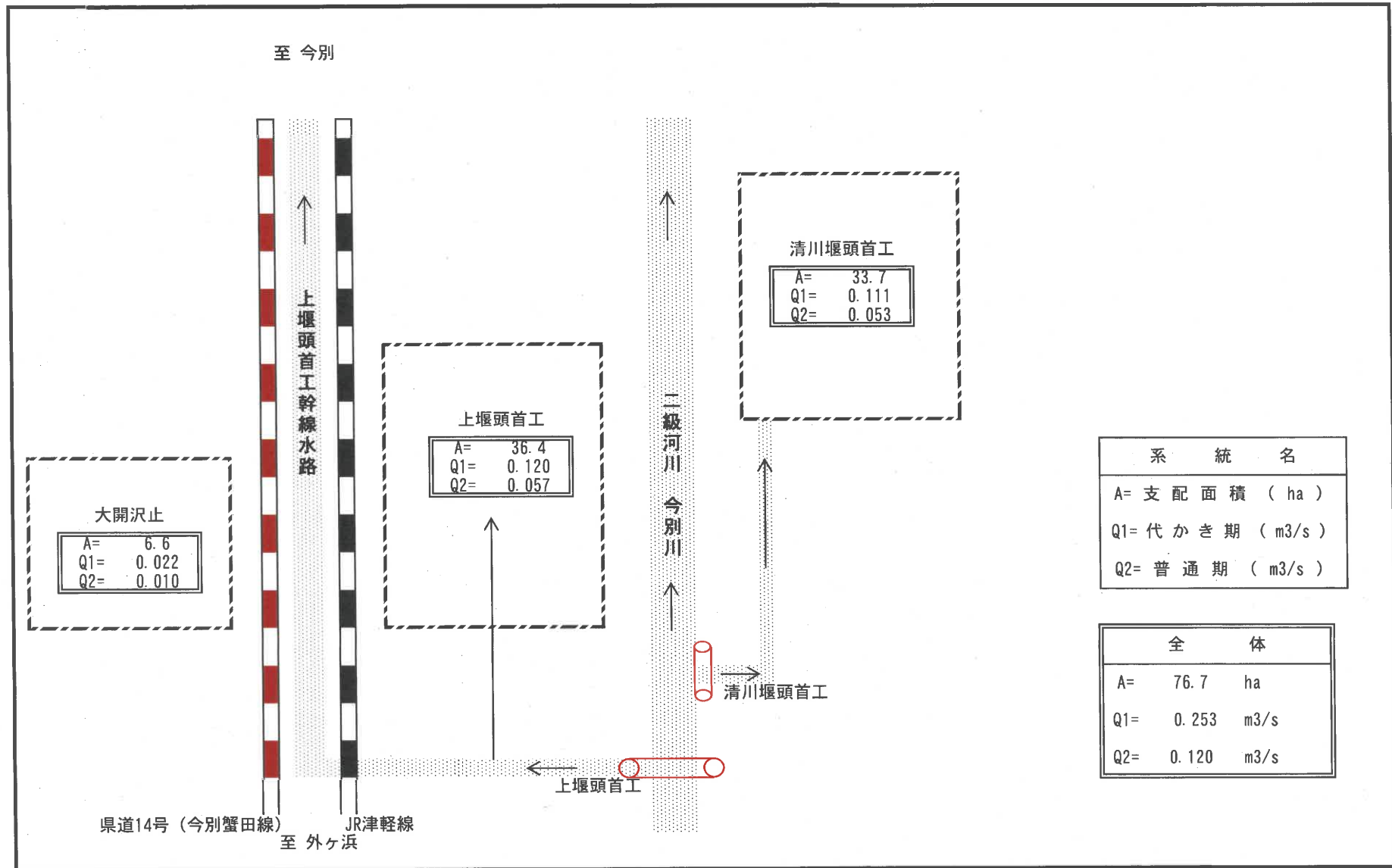
1. 用水状況

本地区の用水は、二級河川今別川を水源としている。また、地区内の水路は用排兼用の土水路で、水管理及び維持管理に多大な労力を費やしている。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図 (P.5 参照)

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項 目 施設名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣 行 水 利 権		延べ取水量	備 考
	500ha 以上		500～100ha		100ha 未満									
	箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
貯 水 池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
井 堰	—	—	—	—	2	70.1	2	70.1	1	0.094 (0.474)	1	0.139 (0.262)	0.233 (0.736)	上堰頭首工（許可） 清川堰頭首工（慣行）
自然取水口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
揚 水 機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
そ の 他	—	—	—	—	1	6.6	1	6.6	—	—	—	—	—	沢水
計	—	—	—	—	3	76.7	3	76.7					0.233 (0.736)	（ ）は地区外含む

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

(イ) その他の被害状況

該当なし

2. 排水状況

本地区の排水は、二級河川今別川水系今別川に直接排水されている。地区内の排水路のほとんどが用排兼用の土水路であり維持管理に多大な労力を費やしている。

(1) 排水系統

現況排水系統模式図 (P. 8 参照)

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

(第8表-1)

施 設 名		項 目		排 水 面 積				計		排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備 考
				500ha 以上		500 ～100ha						
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
自 然	排 水 路	—	—	—	—	2	90.8 (208.4)	2	90.8 (208.4)	1.017	1.017	
	水 門	—	—	—	—	—	(—)	—	—	—	—	
機 械	排 水 機	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)	—	—	
	水門及び排水機	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)	—	—	
	排水路及び排水機	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)			
計		—	—	—	—	2	90.8 (208.4)	2	90.8 (208.4)	1.017	1.017	()は 地区外含む

(イ) 改修を要する施設の一覧表

該当なし

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

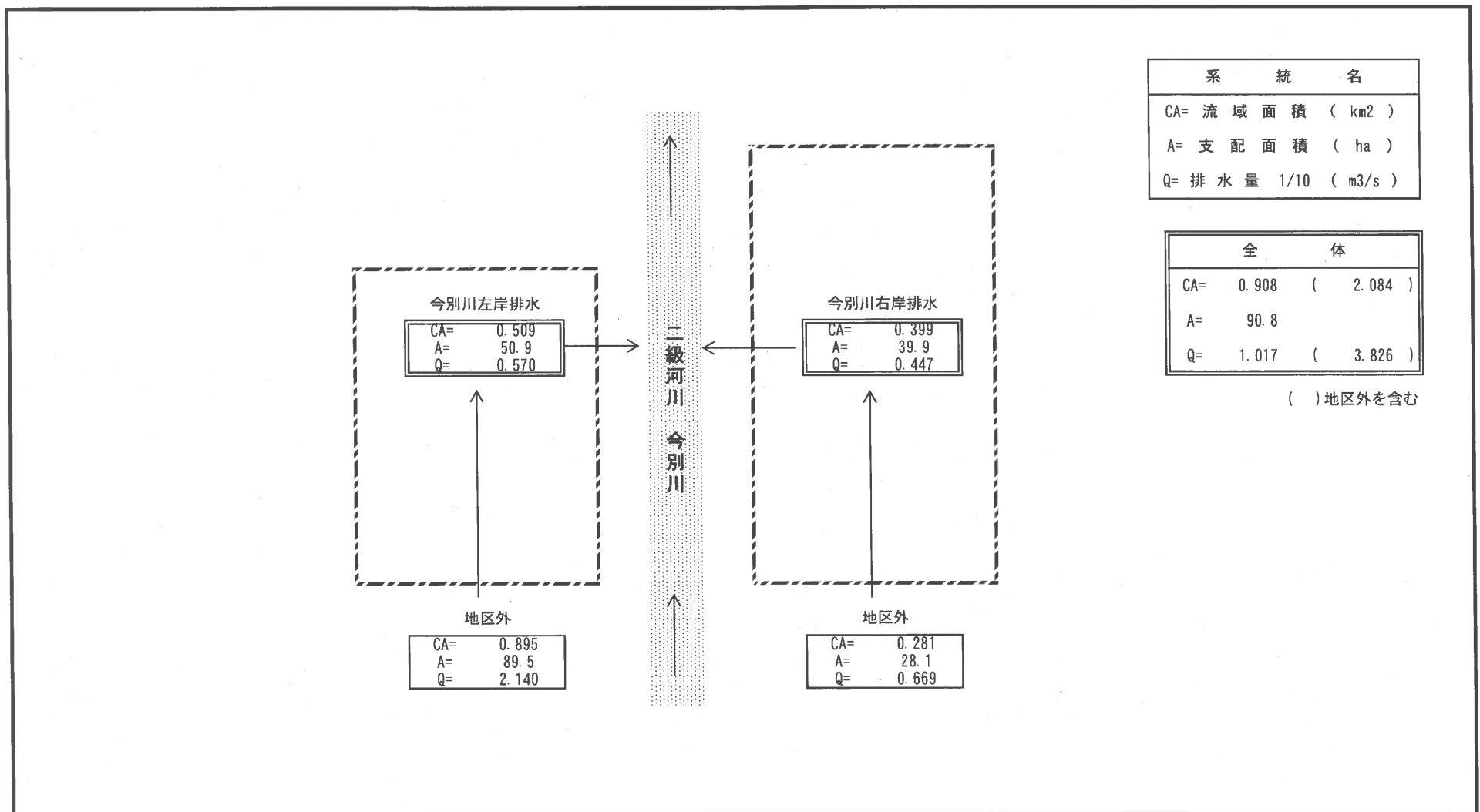
(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

4. 想定被害状況

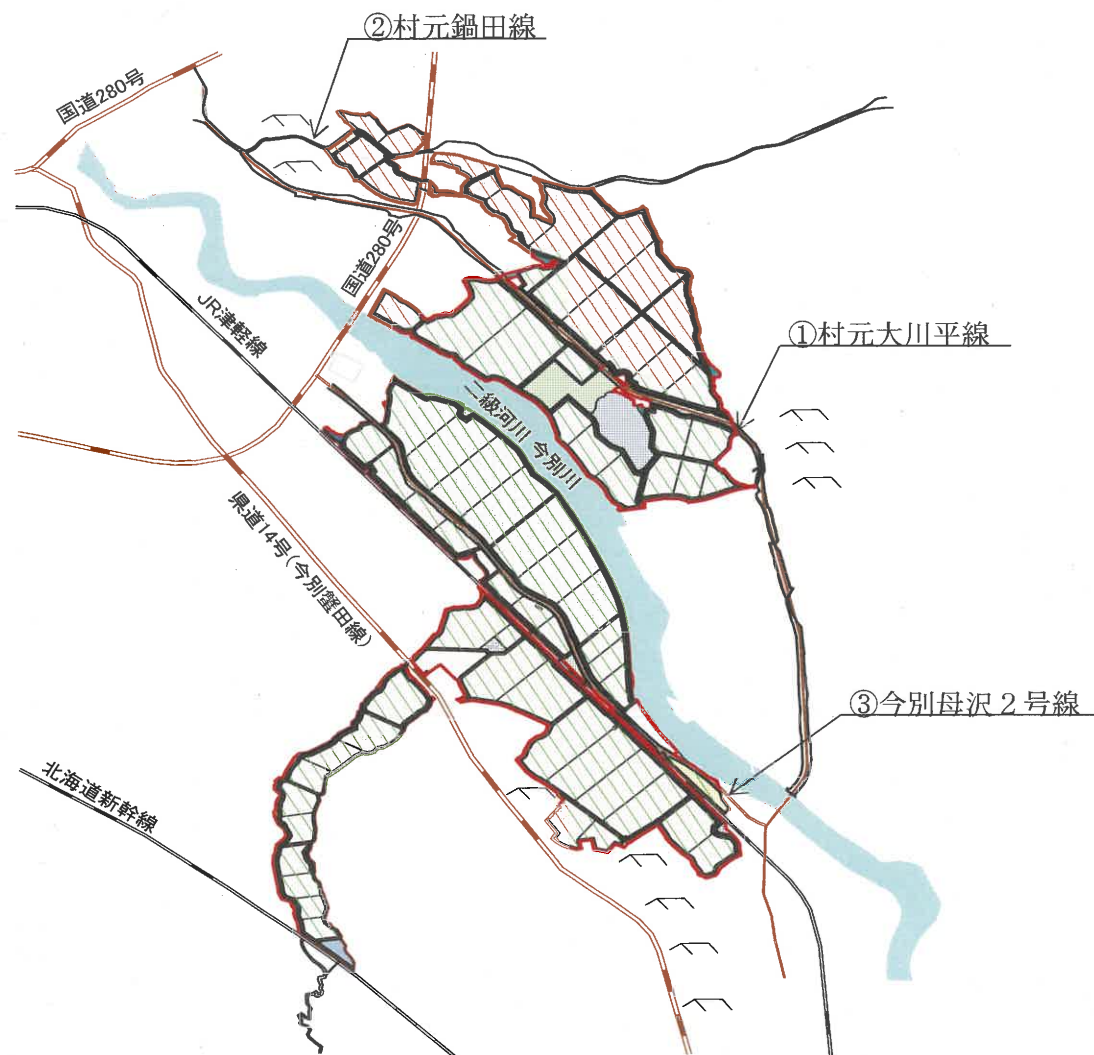
該当なし

現況排水系統模式図



第 4 節 道 路 現 況

1. 道路概況



2. 主要道路一覧表

No.	路線名	管 理 区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改 修 の 要 否	備 考
				全 幅	有効幅員			
①	村 元 大 川 平 線	町	2,975	6.0	5.0	アスファルト舗装	否	
②	村 本 鍋 田 線	町	2,101	6.0	5.0	アスファルト舗装	否	
③	今 別 母 沢 2 号 線	町	1,593	6.0	5.0	アスファルト舗装	否	

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

総務省統計局＞統計データ＞令和2年度国勢調査

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱 供給水道 業 (人)	運 輸 通信業 (人)	卸売小売 業飲食店 (人)	金 融 保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス 業 (人)	公 務 (人)	その他 (人)	備 考
今 別 町	951	60	8	71	-	201	43	4	31	128	2	2	310	80	11	
計	951	60	8	71	-	201	43	4	31	128	2	2	310	80	11	
比率 (%)	100.0	6.3	0.8	7.5	0.0	21.1	4.5	0.4	3.3	13.5	0.2	0.2	32.6	8.4	1.2	

2. 経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数

2020農林業センサスⅡ農業経営体(総数) 3経営耕地面積規模別経営体数

2020農林業センサス自給的はⅥ総農家等 2経営耕地のある農家数と経営耕地面積

(第7表-2)

区分 市町村名	農 家 総 戸 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						専兼業別農家数(戸)			備 考
		例外規定の 適用を受け るもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	専 業	兼 業		
																				第一 種	第二 種	
今別町	81	-	4	2	3	3	7	3	5	3	1	50	1.36	0.05	0.00	1.41	0.36	1.77	22	8	35	販売農家 65戸 専兼業別農家数は2015農林業センサスより
計	81	-	4	2	3	3	7	3	5	3	1	50	1.36	0.05	0.00	1.41	0.36	1.77	22	8	35	
比率 (%)	100.0	-	4.9	2.5	3.7	3.7	8.6	3.7	6.2	3.7	1.2	61.8	76.8	2.8	0.0	79.7	20.3	100.0	33.8	12.3	53.8	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

2015年世界農林業センサス Ⅱ農業経営体

2020年農林業センサス Ⅱ農業経営体14 販売目的の家畜等を飼養してい
る経営体数と飼養頭羽数

(第7表-3)

項 目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜				備考
	トラクター		コンバイン		動力田植機		乗用型スピードスプレヤー		肉用牛		-		
	数量 (台)	戸 数 (戸)	数量 (台)	戸 数 (戸)	数量 (台)	戸 数 (戸)	数量 (台)	戸 数 (戸)	数量 (頭)	戸 数 (戸)	数量 (頭)	戸 数 (戸)	
今 別 町	716	636	106	99	377	365	-	-	x	7			x:各集計区分(農林業経営体、農業経営体、林業経営体、総農家数、林家数)の調査対象数が2経営体(戸)以下の場合は、秘密保護の観点から、調査対象数を除く全ての調査結果を「x」表示とした。 (農林水産省HP 2020年農林業センサス 利用者のために P24より抜粋)
計	716	636	106	99	377	365	-	-	0	7			
100戸当たり数量(台、頭)	884		131		465		-		0				
利用戸数割合 (%)	785.2		122.2		450.6		-		8.6				

4. 主要作物作付状況

農林水産省HP>統計情報>農業生産に関する統計>作物統計>面積調査>市町村別データ>令和5年(e-Stat)>耕地面積>青森県

(第7表-4)

市 町 村 名			今 別 町		作 付 率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)			561			
区 分			作 付 面 積	単 位 面 積		
作 物 名			(ha)	当 たり 収 量	(%)	
			(kg/10a)			
水田	表 作	水 稻	90	580	28.7	本地面積全体 541 ha
	裏 作		-	-	-	
	小 計		90		28.7	
畑	春	そ の 他 作 物	451	-	198.7	田 314 ha 畑 227 ha (畑の中に、樹園地及び牧草地を含む)
			-	-	-	
	夏		-	-	-	
			-	-	-	
			-	-	-	
	秋 冬 作		-	-	-	
			-	-	-	
			-	-	-	
	小 計		451		198.7	
果樹園	その他果樹		-	-	-	
			-	-	-	
	小計		-		-	
計			541		100.0	
市町村別延作付率 (%)			100.0			

5. 農業の動向

2020年世界農林業センサス II 農業経営体、V販売農家、H22・H27・R2農産物統計 (第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変 化 の 状 況 (C年を100とする指数)	総農家数	61	31	耕地	44	30	水 稻	68	76	乳用牛	-	-	トラクター	86	-	農業振興地域 昭和48年 過疎地域指定 平成2年 振興山村指定地域 昭和44年 特定農山村地域 平成5年 半島振興対策実施地域 昭和61年	A:令和2年 (2020年世界 農林業セン サス) B:平成27年 (2015年世界 農林業セン サス) C:平成22年 (2010年世界 農林業セン サス)
	専業農家数	71	-	田	91	54	小 麦	-	-	肉用牛	0	x	コンバイン	87	-		
	第一種兼業農家数	57	-	畑	44	13	大 豆	-	-	豚	x	x	動力田植機	64	-		
	第二種兼業農家数	56	-	樹園地	-	-	その他作物	109	95				乗用型スピードスプレヤー	-	-		
	農業従事者数	63	29	草地	3	12											
変 化 の 理 由	農家数及び農業従事者の減少は他産業への流出による。			耕地の減少は農地転用等による。			水稻の減少は転作奨励による。						本項目は、令和2年度農林業センサスより調査項目対象外となった為、データ無し。				

x:各集計区分(農林業経営体、農業経営体、林業経営体、総農家数、林家数)の調査対象数が2経営体(戸)以下の場合は、秘密保護の観点から、調査対象数を除く全ての調査結果を「x」表示とした。
(農林水産省HP 2020年農林業センサス 利用者のために P24より抜粋)

第 6 節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

ほ場の大区画化、農業用排水路、農道等の農業生産基盤整備を行うことにより、農作業の効率化、生産コストの低減、維持管理費の節減及び高収益作物の導入を図り、これと併せて担い手への農地集積を促進することで、農業競争力の強化を図る。

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。

2. 事業別面積

(第8表)

土地利用 区分 事業目的	水 田 (ha)	畑					計 (ha)	備 考
		普通 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	牧 草 畑 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)		
区画整理	66.6	0.5	—	—	—	—	67.1	
計	66.6	0.5	—	—	—	—	67.1	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、水稻に野菜を組み合わせた複合経営方式による農業経営の安定化を図る。また、担い手への農地の集積・集約化を促進し、機械の大型化により作業効率を向上させ、高効率で生産性の高い農業経営を確立する。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

土地利用 区分	水田 (ha)	畑					小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)						
現 況	76.7	0.1	—	—	—	—	76.8	1.6	—	12.4	90.8	その他：道水路、雑種地
計 画	66.6	0.5	—	—	—	—	67.1	1.6	—	22.1	90.8	その他：道水路、雑種地

3. 作付方式

(第9表-2)

項目	経営類型	土地 利用 区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
現 況	水稻 + 野菜	田	水稻 加工用米 ばれいしょ 牧草												水稻 加工用米 ばれいしょ 牧草												水稻 加工用米 ばれいしょ 牧草												
		畑	ぶどう 牧草												ぶどう 牧草												ぶどう 牧草												
計 画	水稻 + 野菜	田	水稻 加工用米 ばれいしょ 牧草												水稻 加工用米 ばれいしょ 牧草												水稻 加工用米 ばれいしょ 牧草												
		畑	ぶどう 牧草												ぶどう 牧草												ぶどう 牧草												

4. 生産計画

(第9表-3)

項 目 土地利用 区分		作 物 名	作 付 面 積 (ha)			作 付 率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生 産 量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備 考
			現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増減	単 位 面 積 当 たり 収 量 増 加	
水 田	表作	水 稻	36.6	36.5	△0.1	76.5%	55.5%	578	578	-	212	211	△ 1	△ 0.1	△1	作付減
			-	(36.5)	-	-	-	578	613	△ 578	212	224	12	-	12	乾田化
			-	(36.5)	-	-	-	578	590	12	212	215	3	-	3	水管理改良
		加 工 用 米	0.1	12.5	12.4	0.2%	19.0%	578	625	47	1	78	77	12.4	77	作付増
			-	(12.5)	-	-	-	578	613	35	1	77	76	-	76	乾田化
			-	(12.5)	-	-	-	578	590	12	1	74	73	-	73	水管理改良
		ばれいしょ	0.1	4.0	3.9	0.2%	6.0%	1,680	2,134	454	2	85	83	3.9	83	作付増
			-	(4.0)	-	-	-	1,680	1,882	202	2	75	73	-	73	乾田化
			-	(4.0)	-	-	-	1,680	1,932	252	2	77	75	-	75	田畑輪換
			-	(4.0)	-	-	-	1,680	1,292	△ 388	2	52	50	-	50	湿潤かんがい
		かぼちゃ	0.2	-	△0.2	0.4%	0.0%	644	644	-	1	-	△ 1	△ 0.2	△1	作付減
			-	(0.0)	-	-	-	644	560	△ 84	1	-	△ 1	-	△1	湿潤かんがい
		キャベツ	0.2	-	△0.2	0.4%	0.0%	3,332	3,332	-	7	-	△ 7	△ 0.2	△7	作付減
			-	(0.0)	-	-	-	3,332	2,949	△ 383	7	-	△ 7	-	△7	湿潤かんがい
		牧草	10.6	12.3	1.7	22.1%	18.7%	2,661	4,284	1,623	282	527	245	1.7	245	作付増
			-	(12.3)	-	-	-	2,661	3,885	1,224	-	478	478	-	478	乾田化
			-	(12.3)	-	-	-	2,661	3,060	399	-	376	376	-	376	田畑輪換
			-	(12.3)	-	-	-	2,661	2,218	△ 443	282	273	△ 9	-	△9	湿潤かんがい
普 通 畑		ぶ ど う	0.1	0.4	0.3	0.2%	0.6%	855	1,009	154	1	4	3	0.3	3	作付増
			-	-	-	-	-	855	1,009	154	-	-	-	-	-	乾畑化
		牧草	-	0.1	0.1	0.0%	0.2%	2,661	3,885	1,224	-	4	4	0.1	4	作付増
			-	-	-	-	-	2,661	3,885	1,224	-	-	-	-	-	乾畑化
果 樹 園		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
牧 草 地		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
茶 園		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
そ の 他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
合 計		47.9	65.8	17.9	100.0%	100.0%									面積は本地面積	

5. 労働改善計画

(第9表-4)

項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備 考
			区 分	現 況	計 画	増 減	
水田	水 稻	36.5	人 力	32.6	28.0	△4.6	営農規模 0.5ha以上 1.0ha未満 → 担い手営農 (集積)
			機 械 力	7.7	5.8	△1.9	
	計	36.5					
	加 工 用 米	12.5	人 力	32.6	28.0	△4.6	営農規模 0.5ha未満 → 担い手営農 (集積)
			機 械 力	7.7	5.8	△1.9	
	計	12.5					
	ばれいしょ	4.0	人 力	74.8	46.7	△ 28.1	営農規模 0.5ha → 営農規模 1.0ha
			機 械 力	40.3	10.7	△ 29.6	
	計	4.0					
合計		53.0					面積は本地面積

第 3 節 用水計画

1. 計画基準年

昭和63年

2. 計画かんがい方式

水 田 水 稻 湛水かんがい方式 かんがい期間 5月15日 ～ 9月1日（代かき期間 5月15日 ～ 5月24日）

3. 計画用水系統

計画用水系統模式図 (P. 18 参照)

4. 計画用水量

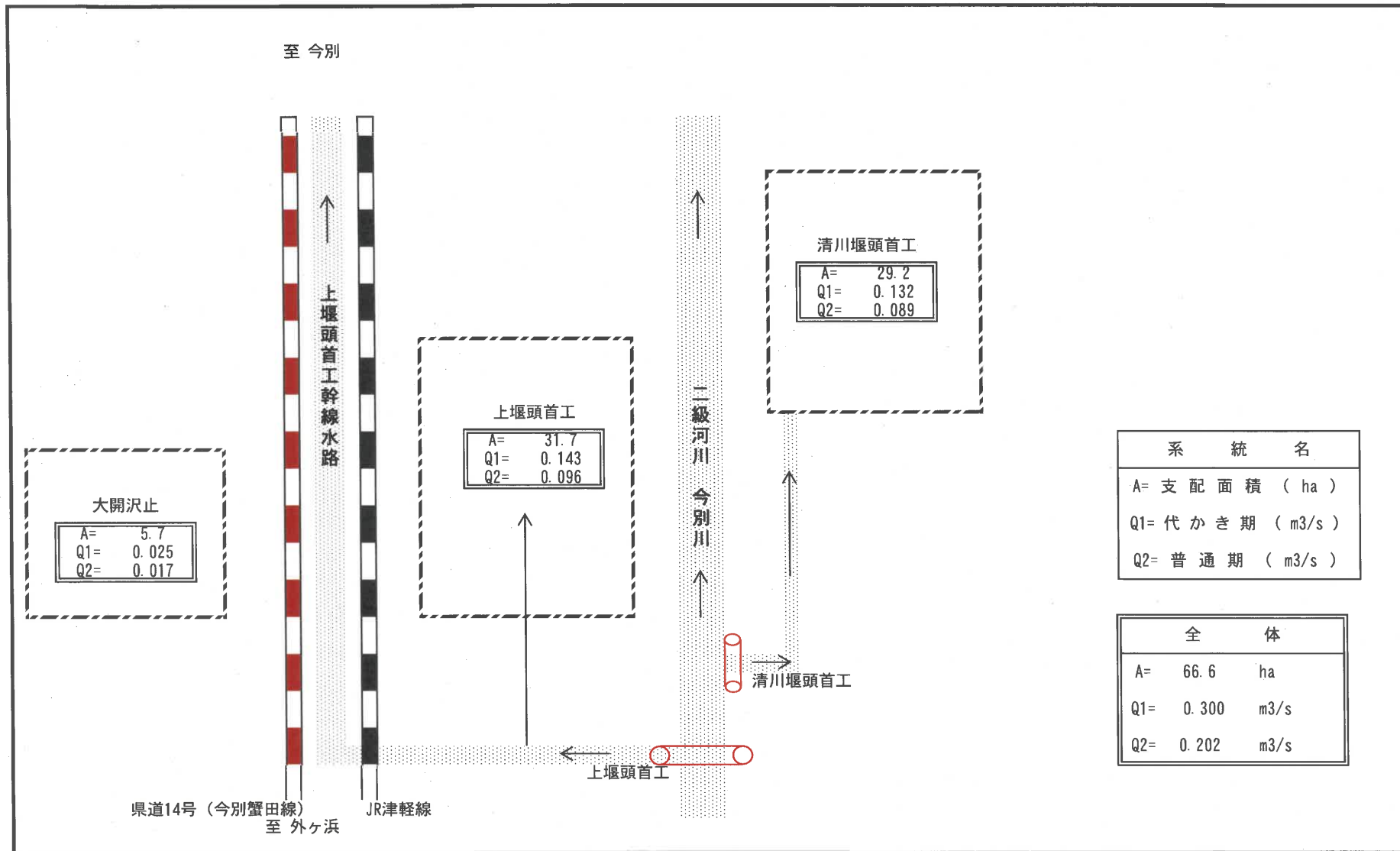
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項 目 系統名	種 別	面 積 (ha)	水田かんがい			水 田 畑 利 用			畑 地 かん がい			そ の 他		消 費 水 量 (m^3/s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考
			普通期	代かき期	面 積 (ha)	一日平均	平均かん水深	平均間断日数	面 積 (ha)	一日平均	平均かん水深	平均間断日数	面 積 (ha)			計 画 平 均	単 位 用 水 量	
			計 画 平 均 (mm/日)	計 画 代 か き (mm/日)		計 画 平 均 (mm/日)	計 画 平 均 間 断 日 数 (日)	計 画 平 均 (mm/日)		計 画 平 均 間 断 日 数 (日)	計 画 平 均 (mm/日)	計 画 平 均 (mm/日)						
大開沢止	農業用水	5.7	23.0	140.0	5.7	5	5	0.0	-	-	-	-	-	代 0.021 普 0.014	15	0.017	0.025	地区内のみ
清川堰頭首工	農業用水	29.2	16.0	140.0	19.53	5	5	9.7	-	-	-	-	-	代 0.112 普 0.076	15	0.089	0.132	地区内のみ
上堰頭首工	農業用水	31.7	20.0	140.0	25.07	5	5	6.6	-	-	-	-	-	代 0.122 普 0.082	15	0.096	0.143	地区内のみ
計		66.6			50.3			16.3			-		-					

(2) 営農飲雑用水 該当なし

計画用水系統模式図



5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
	a	b	c = a - b	d = c / (1 - α)	水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水 量		損失率 α
	(千m ³)	(千m ³)	(千m ³)	(千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g = c - f (千m ³)	h = d - e (千m ³)		(千m ³)		
既水田補水	1,078	-	1,078	1,268	今別川	1,268	1,078	-	-	-	-	既設用水路	α=15%
	1,171	-	1,171	1,378	今別川	1,378	1,171	-	-	-	-	既設用水路	α=15%
	210	-	210	247	沢水	247	210	-	-	-	-	既設用水路	α=15%
計	2,459	-	2,459	2,893		2,893	2,459	-	-		-		

(2) 用水対策

(ア) 貯 水 池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取水口 該当なし

(ウ) 揚 水 機 該当なし

(エ) 用 水 路

(第10表-6)

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
支 線 用 水 路	4.2~19.9	0.122	2,219	コンクリート直壁型	
小 用 水 路	0.2~8.6	0.097	8,894	コンクリート直壁型	かんがい面積及び最大通水量は支線用水路に含まれる
計	66.6		11,113		

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第 4 節 排水計画

1. 計画基準雨量 日雨量 113.8mm (1/10確率雨量)

2. 計画排水方式 排水方式：自然排水 許容湛水：なし

3. 計画排水系統 計画排水系統模式図 (P. 21 参照)

4. 計画排水量

(第 11 表 - 1)

項 目	受 益 面 積	流 域 面 積		基準 雨量	降雨による直接単 位流出量 (m³/s/km²)		基底流出量		全 排 水 量 (m³/s)			単位排水量		備 考
		(km²)			(m³/s/km²)		(m³/s/km²)		(m³/s)			(m³/s/km²)		
		山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地	山 地	平 地		山 地	平 地	
排水系統名	(ha)			(mm)						自然排水	機械排水			
今別川左岸排水	39.5	-	1.430	113.8	-	1.903	-	-	-	2.721	-	-	1.903	
今別川右岸排水	27.6	-	0.654	113.8	-	1.642	-	-	-	1.074	-	-	1.642	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	67.1	-	2.084						-	3.795				

5. 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(2) 排水機 該当なし

(3) 排水路

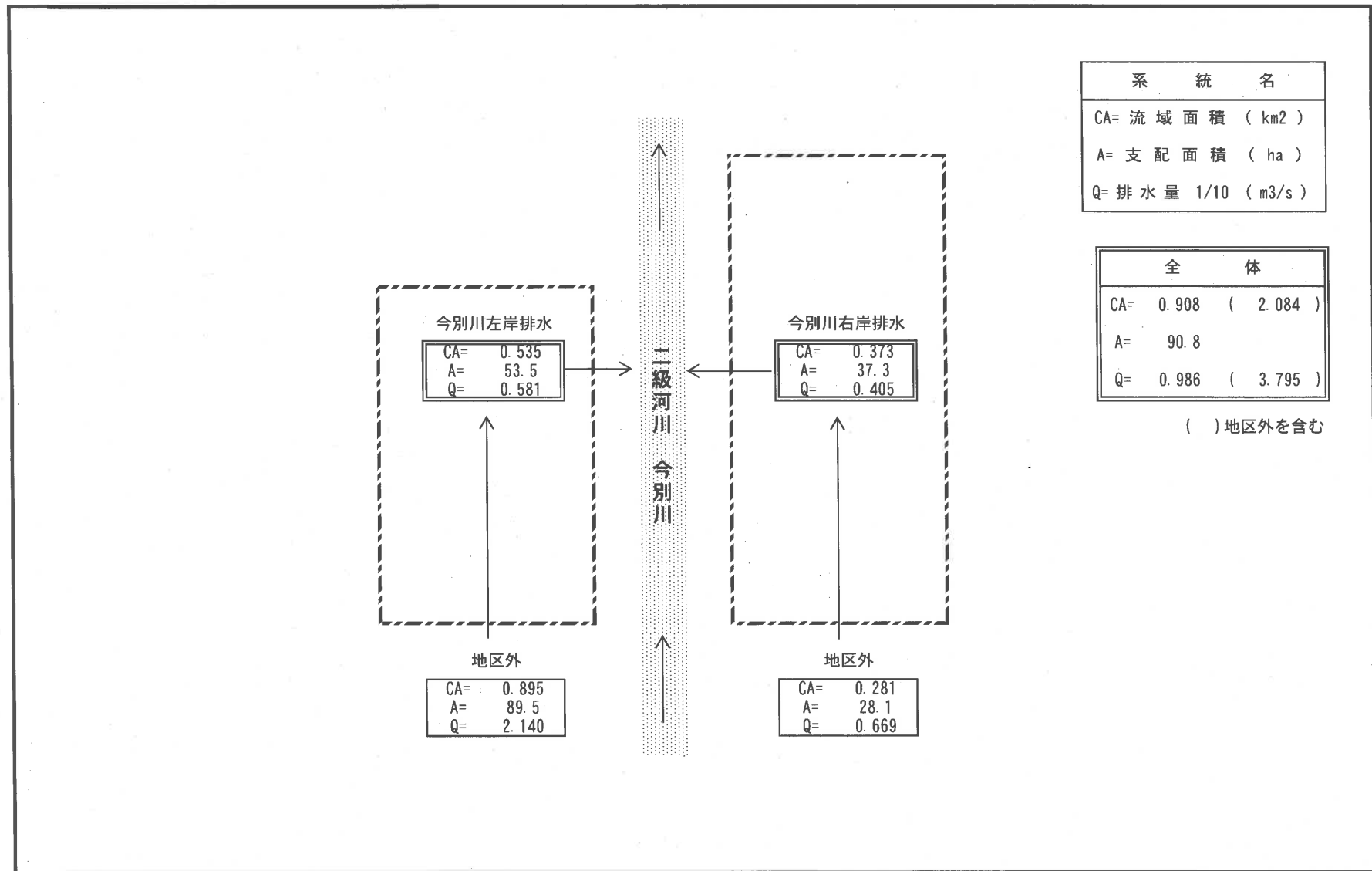
(第 11 表 - 4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)	計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	排 水 本 川			備 考
						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
支線排水路	0.296	29.6	0.362	676	コンクリート直壁型	今別川	-	-	
小排水路	0.005~ 0.267	0.5~26.7	0.006~0.527	7,704	コンクリート直壁型	今別川	-	-	
管排水路	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	2.084	67.1		8,380					

(4) その他 該当なし

6. たん水検討 該当なし

計画排水系統模式図



第 5 節 道路計画

1. 道 路

(第12表)

項 目 路線名	幅 (有効) (m)	延 長 (m)	構 造	既 設 道 路 と の 関 係	備 考
支 道 I 型	5.0 (4.0)	14,795	碎石舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	地区外既設道路へ接続	
支 道 II 型	4.0 (3.0)	70	碎石舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	地区外既設道路へ接続	
計		14,865			

2. 路線配置図



第 6 節 洪水調節計画

- | | |
|------------------------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画洪水量及び調節量 | 該当なし |
| 3. 貯水池 | 該当なし |
| 4. 洪水調節検討 | |
| (1) 河川改修計画との関係 | 該当なし |
| (2) 洪水調整が下流に及ぼす影響 | 該当なし |
| (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 | 該当なし |
| 5. 管理計画 | |
| (1) 管理機構 | 該当なし |
| (2) ダム管理操作上の各種基準 | 該当なし |
| (3) 洪水調節要領 | 該当なし |

第 7 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第14表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
標準区 100×100	100 以上	43.0	64.5	2.0 以下	
標準区 150×50	50 以上	15.9	23.9	2.0 以下	
標準区 70×50	30 以上	7.0	10.5	2.0 以下	
端田区 50×40	-	0.7	1.1	2.0 以下	
計		66.6	100.0		

(2) 表土扱い

(第14表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
66.6	本地区は表土が少なく、表土扱いをしない整地工事では、作物生産に支障を来すため、表土扱いを行う。	15	99,900	

(3) 末端道水路配置図

末端道水路配置図 (P. 26 参照)

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第14表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地 下水位 (m)	集水渠出口 以下の排水方法	備 考
本暗渠	65.9	強グライ土壌強粘土還元型	50	5.8	0.60	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
		強グライ土壌砂土還元型	50	5.8	0.60	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
		グライ土壌壤土型	50	5.8	0.60	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
計	65.9						

(2) 心土破碎

該当なし

3. 客 土 該当なし

4. 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(2) 排水工 該当なし

(3) 浸食（崩壊）防止工 該当なし

第 8 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

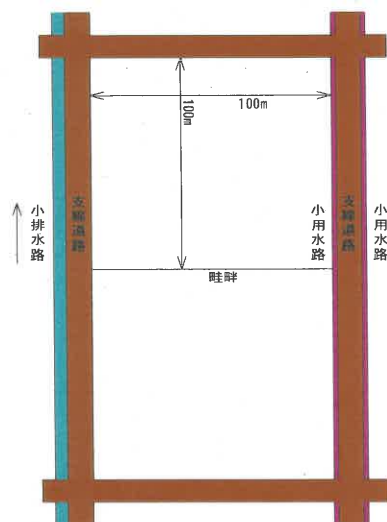
(1) 計画基準雨量 該当なし

(2) 計画洪水量 該当なし

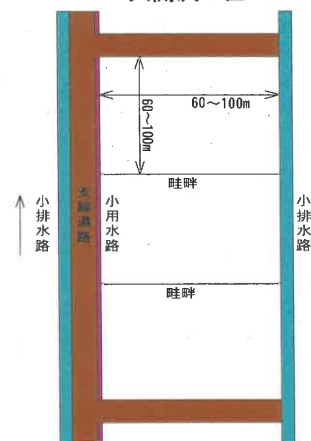
2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

標準区画割図

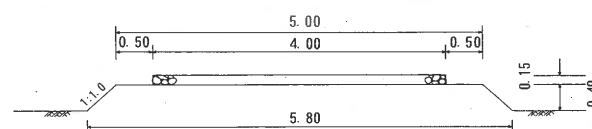


大開沢工区

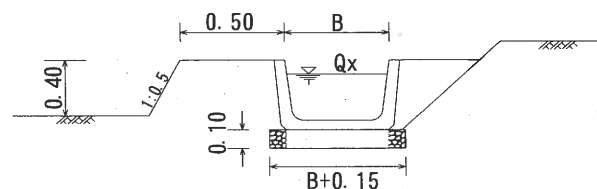


標準構造図

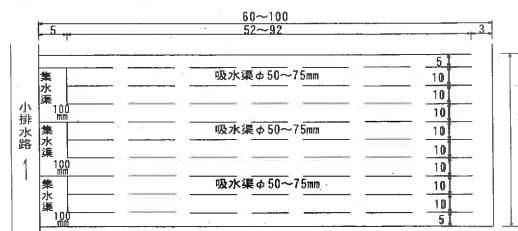
支線道路 (I 型)



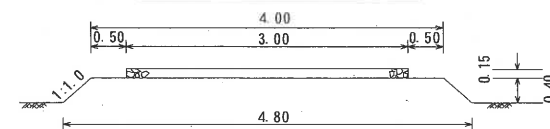
支線用水路



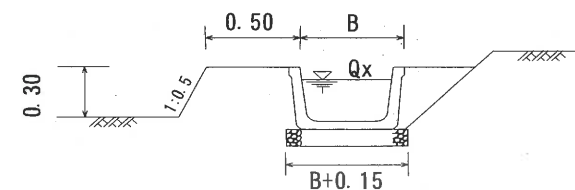
暗渠排水工



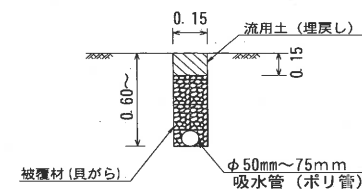
支線道路 (II 型)



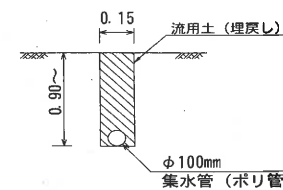
小用水路



吸水渠



集水渠



第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

- 1. 貯 水 池 該当なし
- 2. 頭 首 工 該当なし
- 3. 揚 水 機 該当なし
- 4. 用 水 路 該当なし

第 2 節 排水施設

- 1. 排水水門 該当なし
- 2. 排 水 機 該当なし
- 3. 排 水 路 該当なし
- 4. その他排水施設 該当なし

第 3 節 道 路

- 1. 道路の総括表 該当なし
- 2. 道路主要構造物 該当なし

第 4 節 洪水調節施設

- 1. 貯 水 池 該当なし
- 2. 頭首工及び導水路
 - (1) 頭首工 該当なし
 - (2) 導水路 該当なし

第 5 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(第19表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		区 画	土量(m ³)	面積(ha)	土量(m ³)	
標準区 100×100	43.0	1.0ha以上	-	43.0	64,500	
標準区 150×50	15.9	0.5ha以上	-	15.9	23,850	
標準区 70×50	7.0	0.3ha以上	-	7.0	10,500	
端田区 50×40	0.7	0.3ha未満	-	0.7	1,050	
計	66.6		-	66.6	99,900	

(附帯工：用水路等)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
	支用水路	L=2,219m	BF550～BF600	コンクリート直壁型	
	小用水路	L=8,894m	BF400～BF500	コンクリート直壁型	

(附帯工：排水路等)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
	支排水路	L=676m	排水溝600×500	コンクリート直壁型	
	小排水路	L=7,704m	排水溝400×400 ～600×500	コンクリート直壁型	

(附帯工：道路等)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
	支道Ⅰ型	L=14,795m	幅員5.0m (4.0m)	砂利舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	
	支道Ⅱ型	L=70m	幅員4.0m (3.0m)	砂利舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	

(附帯工：暗渠排水等)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
	本暗渠	A=65.9	吸水管φ50～φ75mm 集水管φ100mm	硬質ポリ管	

2. 暗渠排水		
	(1) 暗渠排水	該当なし
	(2) 心土破碎	該当なし
3. 客 土		
	該当なし	
4. 除 礫		
	該当なし	
5. 農地保全		
	(1) 防災林	該当なし
	(2) 排水路	該当なし
	(3) 浸食防止工	該当なし
第 6 節 老朽ため池改修施設		
1.	貯 水 池	該当なし
2. 堤体補強施設		
	(1) 法面保護施設	該当なし
	(2) 漏水防止工	該当なし
第 6 章	附帯工事計画	該当なし
第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期		
	着 手	令和7年度
	完 了	令和12年度
第 8 章	環境との調和への配慮	

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。また、水路の一部に生態系に配慮した区間を設け、水生生物の棲み処となる場所を確保するとともに、小動物等が転落した際に脱出が可能となるよう脱出用スロープを設置する。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

各農家への配分は、換地選定を機会に利用権等の集積に関する啓発普及を進め、中核的担い手農家への農地の利用集積を図るものとする。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称・所在・面積

(第21表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全工区	東津軽郡今別町大字山崎、大字今別、大字大川平	90.8

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第21表-2)

換地区名	換地の基準
全工区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿面積(国土調査法による地籍調査に基づく登記簿面積)とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第21表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地					一般 国 公 有 地	総 合 計
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行 地域の含める 土地(令第1条 の9()書き)			本事業によっ て生ずる 土地改良 施設用地			創 設 農 用 地 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 村 他	合 計		
						土地 改良 施設	そ の 他	小 計	改 良 区	そ の 他	小 計		宅 地	そ の 他	小 計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 営 業 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 施 設 用 地	宅 地 等	小 計							
全工区	従前の土地	76.7	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	76.8	-	3.7	3.7	-	-	-	-	-	-	3.7	-	0.0	10.3	10.3	0.0	90.8
	換地	66.6	0.5	-	-	-	-	-	-	0.2	0.2	67.3	-	3.5	3.5	-	-	-	-	-	-	3.5	-	0.0	20.0	20.0	0.0	90.8

3. 農用地集団化の方針

(第21表-4)

換地区名	区分 地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
全工区	なし	換地は各人の土地が最も密集した位置を中心に、土地利用条件等を考慮して定める。	概ね1~2団地	固定畦畔

4. 非農用地換地の手法

(第21表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
全工区		原野	概ね従前どおり	15,619	特定用途用地換地	従前の土地所有者	-
		雑種地	概ね従前どおり	19,510	同上	同上	-

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 項目別配点方式

土地の良否、用排水の便否の項目別の条件差により設定した評価表を用い、従前の土地と換地を一筆毎に採点する。
この合計得点数からその土地を等位付けし、その等位毎に価額を評定する。

2. 清算の方法 比例地積清算方式

従前の土地の評価総額と換地の価額総額との差額(増価額)を従前の土地の地積に比例して、各従前の土地に按分し、この按分額を従前の土地の価額と合計して換地交付基準額を定め、これと換地の価額との差額を徴収、交付する。

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第21表-6)

換地区名 \ 区分	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
全 工 区	令和8年度～令和10年度	令和12年度	令和12年度	—

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

本地区は、地区全体について区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項ただし書きの規定に基づき、換地処分を行うことができる。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 22 表)

区 分		事業費 (千円)	備 考
工 事 費		1,952,000	令和 6 年度単価
事 務 的 経 費		97,600	
計		2,049,600	
関連事業 (参考)			該当なし
	計		

第 11 章 効 用

(第 23 表)

区 分 \ 項 目	年 総 効 果 額 (千円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
作 物 生 産 効 果	33,187	11,407	食料の安定供給の確保に関する効果
営 農 経 費 節 減 効 果	116,470	133,971	食料の安定供給の確保に関する効果
維 持 管 理 費 節 減 効 果	△ 7,483	5,519	食料の安定供給の確保に関する効果
耕 作 放 棄 防 止 効 果	22	—	農業の持続的発展に関する効果
国 産 農 産 物 安 定 供 給 効 果	10,242	—	その他の効果
計	152,438	150,897	令和 6 年度単価

<参考>

総 費 用 : 2,292,354 千円
 総 便 益 額 : 2,734,471 千円
 総費用総便益比 : 1.19

第 12 章 関連する事業 該当なし

第 13 章 現況・計画図面

1. 現況平面図 別 添

2. 計画平面図及び土地利用計画図 ”

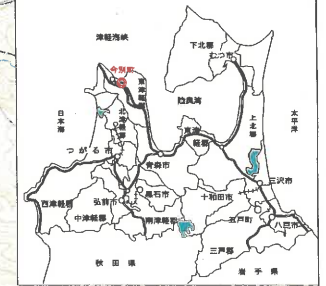
3. 主要構造図 ”

令和7年度新規採択希望 農地整備事業(経営体育成型)

青森県 今別地区 現況平面図

縮尺 1 : 25,000

県内位置図



凡 例	
色 別	項 目
	受益地

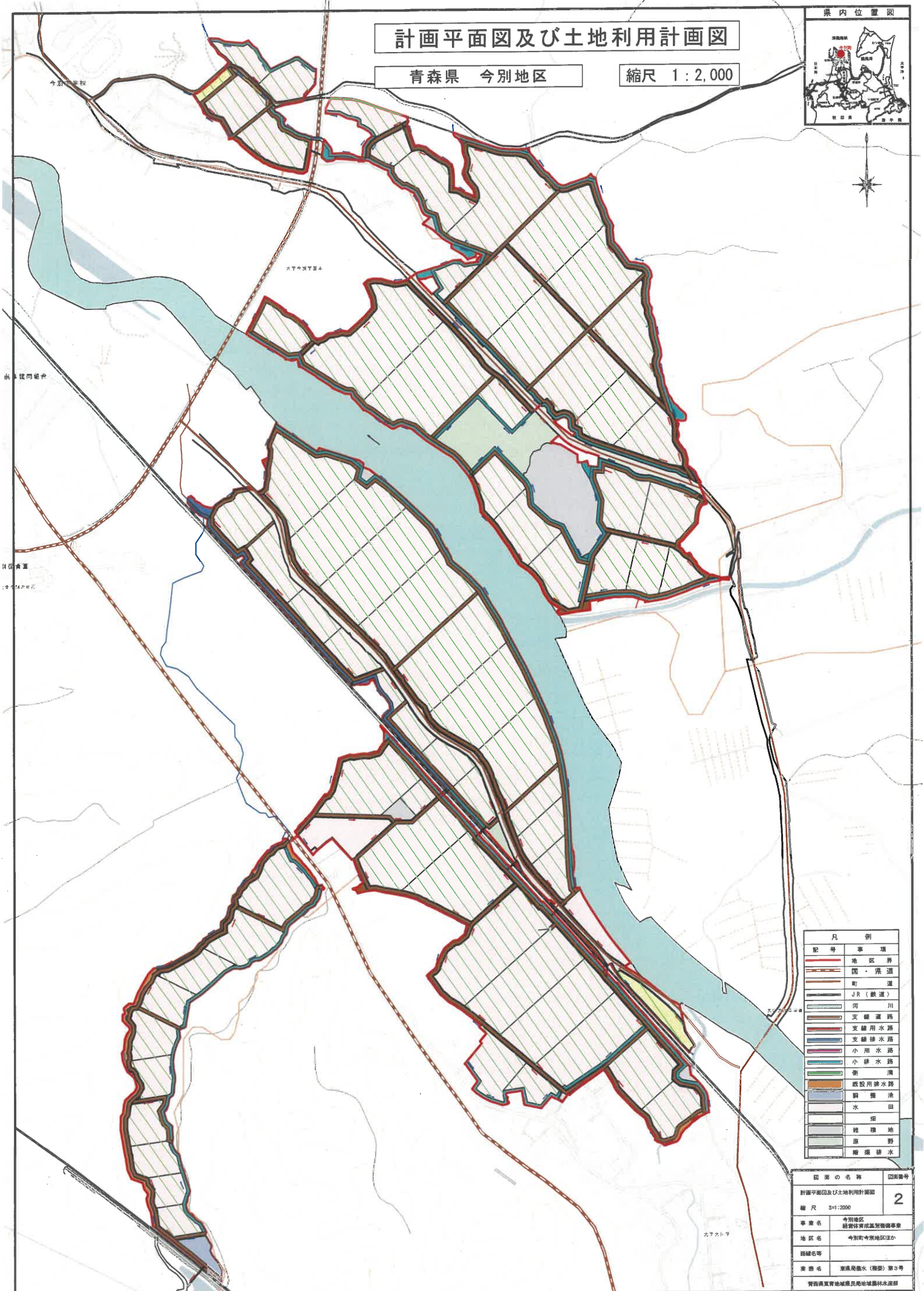
図 面 の 名 称		図面番号
現況平面図		1
縮 尺		S=1:25000
事 業 名	今別地区 経営体育成基整備事業	
地 区 名	今別町今別地区ほか	
路線名等		
業 務 名	東奥局農水（整委）第3号	
青森県東青地域県民局地域農林水産部		

計画平面図及び土地利用計画図

青森県 今別地区

縮尺 1 : 2,000

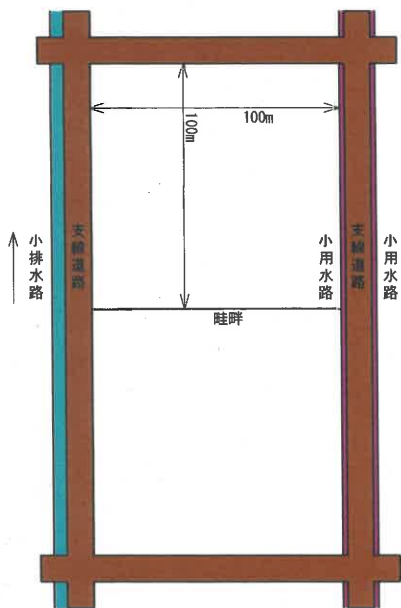
県内位置図



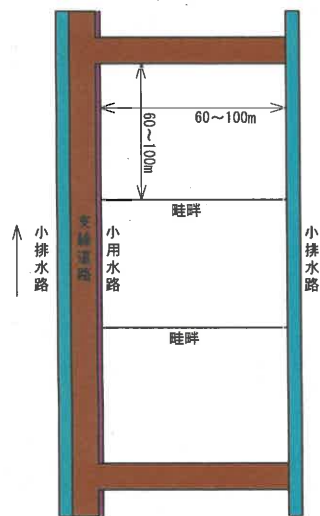
凡 例	
記 号	事 項
	地 区 界
	国・県道
	町 道
	J R (鉄道)
	河 川
	支 線 道 路
	支 線 用 水 路
	支 線 排 水 路
	小 用 水 路
	小 排 水 路
	側 溝
	既 設 用 水 路
	調 養 池
	水 田
	畑
	雑 草 地
	原 野
	雨 溜 池 水

図 面 の 名 称	図 面 番 号
計画平面図及び土地利用計画図	2
縮 尺	1:2000
事 業 名	今別地区 経済体育成基盤整備事業
地 区 名	今別町今別地区ほか
路線名等	
案 照 名	東奥開発水(建設)第3号
青森県農業地域開発局農業地域振興課	

標準区画割図

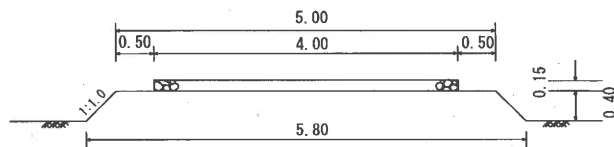


大開沢工区

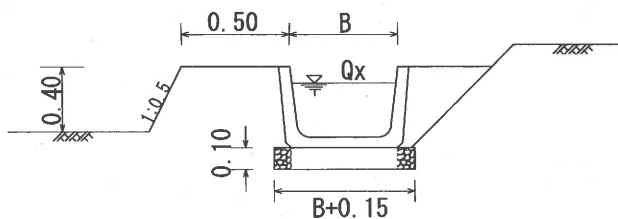


主 要 構 造 図

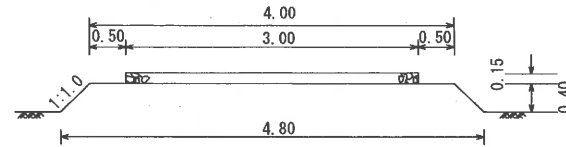
支線道路（Ⅰ型）



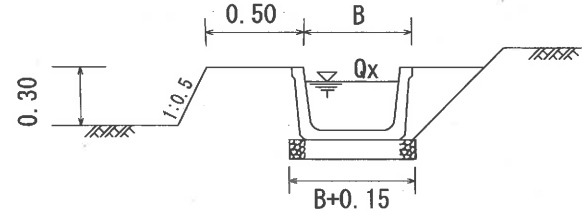
支線用水路



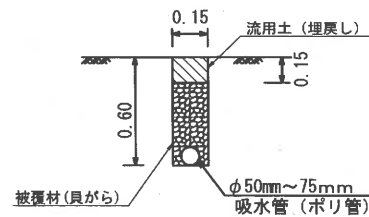
支線道路（Ⅱ型）



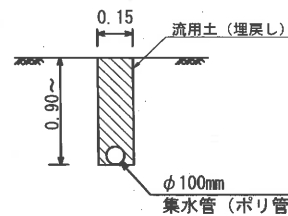
小用水路



吸水渠



集水渠



暗渠排水工

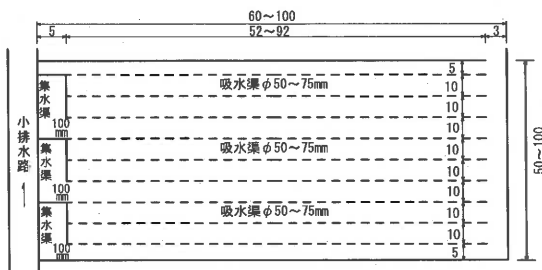
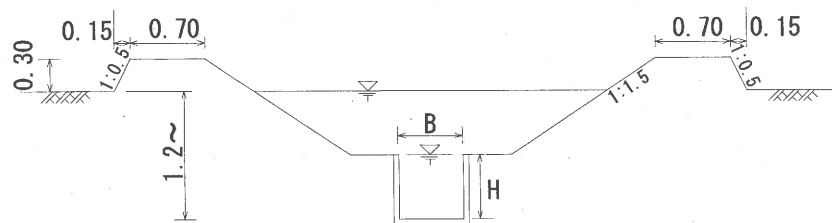


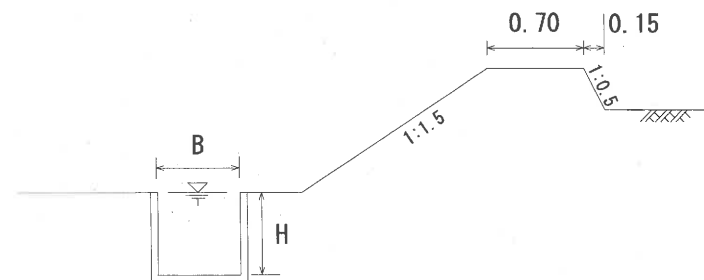
図 面 の 名 称		図面番号
主要構造図		3-1
縮 尺 S= No scale		
事 業 名	今別地区 経営体育成基盤整備事業	
地 区 名	今別町今別地区ほか	
路線名等		
業 務 名	東県県農水（整営）第3号	
青森県東青地城県民局地城農水産部		

主 要 構 造 図

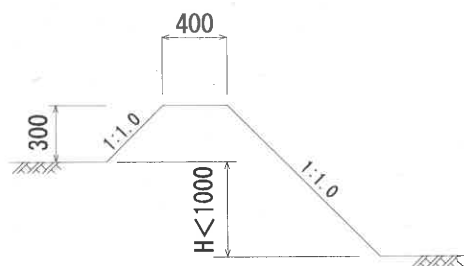
支・小排水路



側溝水路



畦畔工 (I 型)



畦畔工 (II 型)

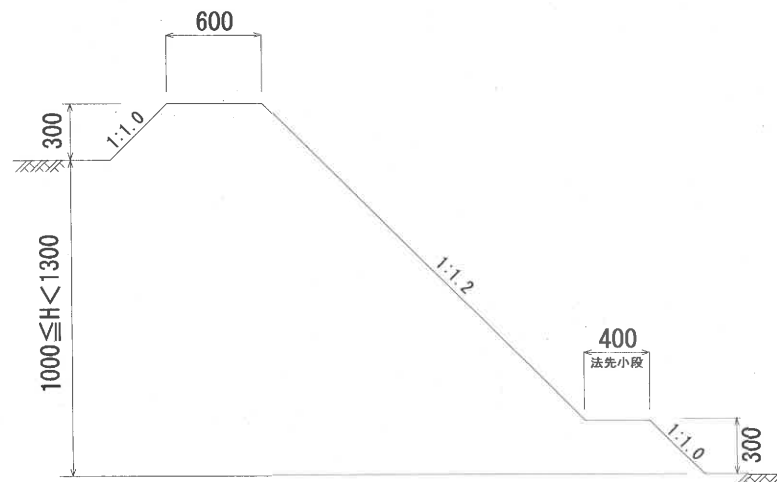


図 面 の 名 称		図面番号	
主要構造図		3-2	
縮 尺 S= No scale			
事 業 名	今別地区 経営体育成基盤整備事業		
地 区 名	今別町今別地区ほか		
路線名等			
業 務 名	東泉局農水（整営）第3号		
青森県東青地域農林局地域農林水産部			